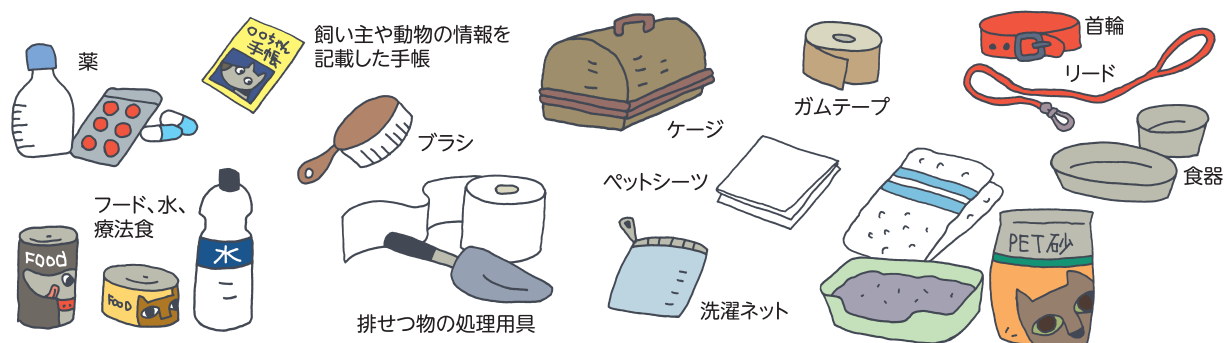


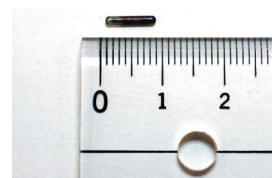
万が一の災害に備えて

災害時

- 災害時に備え、日頃から犬の飼育に必要なものを備蓄しておきましょう。



- 災害時、普段と違う環境で生活することになっても、キャリーケースの中であれば安心して落ち着いていられるよう、日頃からキャリーケースに慣らしておきましょう。
- 避難先で迷惑をかけないように、普段から無駄吠えをしないようしつけをしましょう。
- 決められた場所で排泄できるようトイレトレーニングをしておきましょう。
- 所有者情報が分かるよう、鑑札、注射済票、迷子札を装着しておきましょう。脱落のおそれがないマイクロチップも有効です。
- 年1回の接種が義務付けられている狂犬病予防ワクチンはもちろん、各種ワクチンの接種やノミなどの駆除を行いましょう。
- 避難所に避難することとなった場合は、避難所のルールを守りましょう。



マイクロチップ

ペットの受入れに関しては、避難所によって対応が異なります。



ペットと一緒に避難するための備えは、特別なことはありません。
普段からしつけや健康管理に気をつけることが災害時の備えにもなります。

突然のできごとや要介護になった場合

例

- ◆ ケガや病気・事故による入院
- ◆ 福祉施設への入所・引っ越し
- ◆ 認知症等による在宅介護



備え

- 終活ノート等にペットのことを記しておきましょう。
- 預け先・新たな飼い主を探しておきましょう。
- 民間事業者のサービスを利用できるように、しつけやワクチン接種等をおきましょう。

民間事業者の主なサービス

- 動物病院
病気の治療、ワクチン接種、避妊去勢手術
- トリミングサロン
シャンプー、毛のカット、爪切り
- ペットシッター
ペットのお世話（散歩代行など）
- ペットホテル
ペットの一時預かり
- 老犬・老猫ホーム
犬猫の終生預かり
- 行政書士・保険会社
ペットを誰に託すか、残した財産をペットのためにどう使うか、遺言や信託という形で決めておく。